

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和1年6月29日

都道府県知事  
(市長)

殿

有限会社今村牧場

代表取締役 今村 均  
大分県国東市安岐町山浦1802番地23  
TEL・FAX 0978-63-1429

提出者

住 所

氏 名

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社今村牧場
事業場の所在地	代表取締役 今村 均 大分県国東市安岐町山浦1802番地23 TEL・FAX 0978-63-1429
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	01 農業
②事業の規模	頭数90頭 牛牛生産37頭
③従業員数	2人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の死骸 ①自ら堆肥化 動物の死体 ②化製場へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)

## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(平成30年度)実績】		
産業廃棄物の種類	雨物のふんじ	雨物の死体
排出量	1843 t	2 t

## ①現状

(これまでに実施した取組)

該当なし

## ②計画

(今後実施する予定の取組)

該当なし

## 産業廃棄物の分別に関する事項

## ①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

該当なし

## ②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

該当なし

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(平成30年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1240 t	t
(これまでに実施した取組)			
堆肥化			

  

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	1240 t	t
(今後実施する予定の取組)			
堆肥化			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(平成30年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	603 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん便	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	603 t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(平成10年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) <i>該当なし</i>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) <i>該当なし</i>		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(平成10年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	<i>廃物の処理</i>	<i>廃物の死体</i>
	全処理委託量	t	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) <i>廃物の死体は化製場に委託し 処理している。</i>			

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	動物の死骸	動物の死体
②計画		全処理委託量	t	2 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 動物の死体は化製場に委託し処理				
※事務処理欄				